

2023 年度 第 1 回拡大職員会議「学童保育所の生活のなかでの安全」レポート

【クラブ】（ 風の子クラブ ）

【名 前】（ 鈴木 美幸 ）

心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

たけのこクラブでの事故を聞き、鬼ごっこでこんな事態になるなんてと正直、驚いた。たけのこクラブの指導員さんの精神的なダメージや、それでも日常はやってくるから、事故にあった子どもの事を思いながらも、登所してくる子どもたちを笑顔で迎え保育をしなければならなかったことを思うと本当にいたたまれなかった。

保育中にどれだけ気をつけて緊張感をもって保育しても、事故が全く起きないとは言い切れないが、防ぐことのできるものは、未然に防ぐ努力は必要で、そのためにも今回の KYT を使ったグループワークで危険箇所を必死に探すことは、日々の保育において、保育室や公園内を再度、危険箇所を見つける、予測する良い機会となった。

その KYT で、「見守る大人が 1 人もいない」発言には、指導員として 1 番に気づかなければならぬ所だなと猛省し、また「のぼり旗に重しをしていないから倒れてくるかも」の発言には、そんなところまで？とってしまったが、その数日後の保育中に、お隣のドラッグストアで重しをしてあるのにも関わらず、子どもが公園から帰ってくる時にのぼり旗が強風で倒れたことが実際にあり、そうかもしれないと予測を立て、危険を回避することの大切さを実感した。

今回のように 6 クラブ合同での内部研修は、他クラブの指導員のそれぞれが持つ視野でたくさんの意見を聞くことができ、いろんな見方があることを学ぶ機会となり、貴重な時間を過ごすことができた。今後もこういった内部研修が、年に数回あるといいと思った。

提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※〆切は、12 月 3 日（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazkaigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。